



「太鼓教室」での仲間たち

こぶしだより

1994年 11月30日

発行 - オ174号
こぶし作業所
宇都宮市柳田町1401
☎0286(62)1911

大好評!! 家族旅行



in わらび座



去る11月6日(日)・7日(月)と、
秋田県にある民族舞踊団「わらび座」
に行きました。こぶしは、座の舞台観劇は二部で構成さ
れ、昨年より仲間たちに本物の感動を味わせたいと、計画し
間には少しゆかりにくかった

かな(?) 後半はソーラン節
舞など、各地の民族芸能の
紹介。こぶしは仲間たちも大喜
び。細川君や菊地君、野中君
や由紀ちゃん、舞台上に上っ
た。ファイバーしていました。
その他、プログラム別行動
では、太鼓教室や陶芸教室、
ハイキングやバス観光を申し
ました。

温泉につかり、おいしいご
飯もたらふく食べ、アツとい
う間の2日間でした。参加者
の感想も大好評。一泊二日
は、もったいないと叱ら
れました。又、もう一度
企画したいですね。

〈成田〉

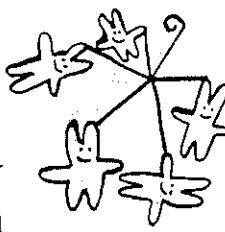
観光編

家族旅行の2日目、朝起き
たら雨。あー紅葉が見られな
いかとがっかり。でもだんだ
んと空が明るくなり、青空が
出てきた。今日は保護者の人
たちと観光バスにて田沢湖か
ら武家屋敷のコースでガイド
さん付き、お母さんたちも仲
間と別行動なのでまるで大は
しゃぎ。田沢湖に着くとおみ
やけを買いに行く人、写真を
撮る人と大忙し。でもガイド
さんがとてもほからか、車
の中でも笑っぱなし。秋田弁
で話したりと愉快なガイドさ
んでした。武家屋敷の中を見
学中は、リッピン気分、コー
ヒーなど飲んだり、とても楽

いいコースでした。

もうちょっとスケジュー
ルがハードでなかったら、また
また見たい所が数多くありま
したが、紅葉は最高で、ガイ
ドさんの話術のうまさにあっ
という間に終わりました。たの
しが残念。またもう一度、あ
のガイドさんの車で観光旅行が
したい。それが保護者の方達
の同意見でした。

〈宇賀神〉



太鼓編

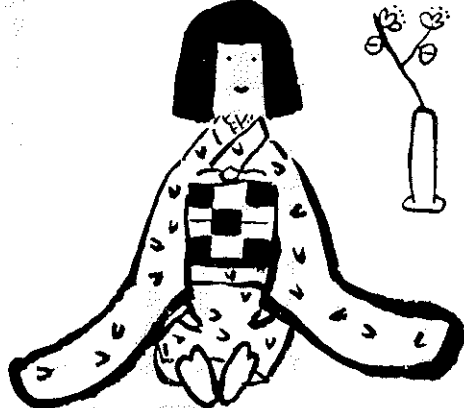
わらび座を語る時、まず話
しに出すのは踊りと太鼓。今
回は是非仲間と一緒に体験し
たいと願っていました。
舞台観劇でホルレージを上
げると、そのまま一気に太鼓
教室へ。指導はたまた今まで
舞台で踊っていた演技者(失
礼、名前を忘れました)。仲間
たちも直前まで観ていた舞
の興奮をそのまま太鼓にぶ
つけ、始まりから元気一杯の音
が鳴りひびきました。

希望者のみ参加のはずが、
しばらくすると宿舎まで届い
ていた太鼓の音にさざめいて一
人二人と仲間たちが姿を見せ
気がつくとはとんどの仲間、
職員が稽古場に集まっしま
しました。
始めのうち他の仲間が振り

おろす「ばち」を恐った

智ちゃんも、しだいに太鼓の
響きを体で感じて時折笑顔さ
れも見せてくれました。また
肢体障害の仲間たちは床に置
いた太鼓相手に汗だくになっ
て戦っていました。
あんなに生き生きとした仲
間の姿を見て、こぶしでも何
か取り組みができないうものか
と、ムズムズしてきた太鼓教
室でした。

〈荒井〉



陶芸編

こぶし9名、けやき2名の
芸術家(仲間)たちが陶芸に
挑戦!!
まずはお手本を見せてもら
い、それだけの想いを膨らま
せながら目の前にあるひとか
たまりの粘土に向かいました。
二日酔いで頭をうなだれた
ままの仲間も約一名いました
が、次々ちぎった粘土を重
ねたり、上手に粘土を丸め
型取ったり、穴を開けてみた
り、グルグル回してみたりと

その個性を發揮しまし
た。湯のみのつもりがじんぶ
りになっちゃったり、時間
いっぱい考え込んでいた仲間
もいましたが、新たな一面を
見つけたと喜んでいました。
はやく出来上がるという

トビックス

美女再び来所

11月のとある日、鈴木さん
を先頭に美女5人が作業室に
入って来たのでみんなはビッ
クリ。そして、11月の末から
こぶしに来た2週間一緒に働
けると聞いてまたビックリ。
この美女達は11月28日から2
週間こぶしに実習に来る専門
学校の学生でした。もの珍し
さうに顔を見る仲間や、恥ずか
しく顔を隠す仲間も。うっむ
い、仕事をやる仲間、全然無
関心の仲間と反応は様々でし
た。28日からおめかしをして
こぶしに来ようと思つた
仲間もいたかも。実習生が
来ることで仲間にとつて良い
刺激になれば良いと思います。

〈田島〉

けやきにも、美女2人と美
男1人が実習に来ています。
いやあ、若いっ、アイです。え
S.M.A.Pの曲が乾いた作業室
の空気をリフレッシュさせて
くれます。

〈塩入〉

今度はT.O.K.I.O.もかけて
ぬ〜!!
その個性を發揮しまし
た。湯のみのつもりがじんぶ
りになっちゃったり、時間
いっぱい考え込んでいた仲間
もいましたが、新たな一面を
見つけたと喜んでいました。
はやく出来上がるという

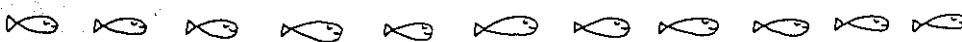
〈斎藤〉

晴れてよかったあ

芳賀町民祭バザー

11月2日(日)3日(日)快晴の間は、まだ暗いうちから暮れ、中、芳賀町民祭が行われ、準備を済ませました。今年も「けやき作業所」で「リテイバザー」ということで、けやきも出店させて頂くことができました。

けやきの保護者会が中心となり、昨年と同様、手作りの赤飯、とん汁、みそおでん、山菜おこし等、食べ物は前日から仕込みに入り、当日二日



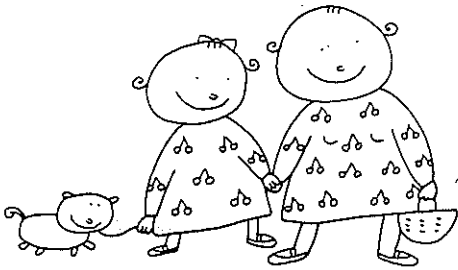
町民祭でのバザーも、だんだん定着してきているように、「毎年、ここが一番いい」とか「来年はもっと早く来るからぬ」と声をかけてくださるお客さんもたくさん居ました。また、「作業所はどこにあるの?」とか「どんな仕事をしているの?」と、作業所や、働く仲間たちにも関心を持ってくださる方も多くとも心強かったです。

志上げは、目標の50万円を越え、大成功のバザーとなりました。お母さん達のパワーと、お得意の団結が中心となり、それを応援する多くの協力者たちが支えとなって成し遂げられた事業だと思います。このように多くの人たちに作業所を支えてもらっている仲間たちは、本当に幸せだと思います。

お疲れさまでした。

AS. 仲間たちもカレンダー販売がんばりました!!

△塩ノ



鬼やんまの みんなで大地

「とびだす目玉なんぞ、かっこいいなあ」と感心したライオンと「たがみつきこの、いさましい船かと思つた」

「地球のおでこにライオンライオンのおでこにかたつむり、かたつむりのおでこに光のつぶがのって、とことこ」とことこ、とことこ、「よし、葉っぱの裏側には、ちいさい風がたまっている」なん?いうことを発見しながら、散歩のたびに友だちになつていく話、工藤直子さんの『ともだちは緑のにおい』という詩集(童話?)です。

以前は、背スジがシャンとして大人になつたような気にしてくゆる漢詩が好きでしたが、それ以来、ひらがなの動物たちにまいいています。



小っさくてもろまな生物と手を出せば一撃で生死にかかわるような闘いをするライオンが、どちらもおいばるでなく地球の上で「生かしてよかたな」「おまえがいて本當にうれしい」という命を感じて、とまうらしい本です。何か障害者と健常者の21世紀もこうあつたらと思つてしまします。

ところでライオンは筋肉隆々としていても開き直ゆる体力を持っていて、のびのびか。それとも闘うための武器は、すでに退化してしまつているのでしょうか。やさしさは、やさしさの中から生まれるのか。このライオン、どうとう生き方を悩んだのではなからうかと考えるのです。

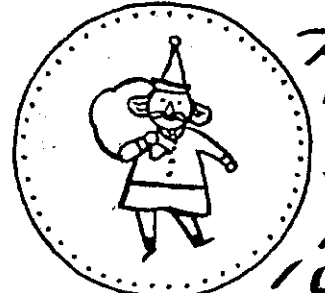
「みんなで大地」が実現するには、言うに言わぬ思いのこもつた大地なのだと思います。

こぶしの長期計画を考えると武者ぶるいながら、思いをめぐらしています。

△鬼やんま

12がつ

スケジュール



- 3日(日) 休所日
- 4日(日) 共作連とちぎ 結成総会・レセ(日曜作業所)
- 10日(日) 休所日
- 11日(日) 休所日
- 17日(土) 職員会議
- 18日(日) 休所日
- 23日(金) クリスマス忘年会
- 24日(土) 休所日
- 25日(日) 休所日
- 28日(水) 4日の振休
- 29日(木) 年末
- 30日(金) 年始 休暇
- 31日(土) 休所日

